地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）

資料４

令和3年1月　　日

協議会名：　匝瑳市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：　地域公共交通調査事業（計画策定事業）

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は 地域公共交通網形成計画等の 計画策定等に向けた方針
1　公共交通に関する現況把握 　地域特性、既存公共交通の現況、上位・関連計画におけるまちづくりの方向性を整理した。 2　市民及び利用者の意向把握アンケート調査 　市民アンケート調査（15歳以上の市民を対象とした2,000人無作為抽出）、市内循環バス利用者アンケート調査、地区別意見交換会（3地区）、交通事業者へのヒアリング調査（5事業者）、関係団体アンケート調査（3団体）、主要施設利用者アンケート調査（3施設）を実施し、利用意向や将来の方向性等について把握した。 3　匝瑳市地域公共交通計画（案）の取りまとめ 　調査等を踏まえ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についての基本方針をまとめ、その基本方針に沿って、持続可能な公共交通網の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を具体的に反映させた計画を取りまとめる。 4　協議会開催 　計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。 （令和2年度末までに計5回開催予定）	A	・計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み。	【補助対象事業名】 　地域公共交通調査事業（計画策定事業） 【事業内容】 　地域公共交通計画策定に係る各種データ収集・分析等 【実施時期】 　令和2年度末策定予定 【方針】 ・現在策定中ではあるが、調査の結果以下の7点を本市の課題と位置付ける予定 1　高齢者・障がい者及び生徒など交通弱者への対応 2　市内循環バスの見直し・改善 3　公共交通と福祉交通施策との役割分担の明確化 4　観光客や来訪者への対応 5　広域アクセスに配慮し公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性の改善 6　市民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供や利用促進に向けた市民意識の醸成 7　多様な主体の連携による持続可能性の確保 ・これらの課題に対し、 1　広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す 2　各公共交通機関同士の相互連携や、誰もが利用しやすい環境整備による利便性向上を目指す 3　多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す 　を基本方針とし、各種目標及びそれに基づく施策を展開していく。

※事業実施の適切性
　調査事業が適切に実施されたかを、A、B、Cの3段階で評価する。計画どおり実施されなかった場合には、実施されなかった事項及びその理由を明らかにする。
　A：事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
　B：事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった
　C：事業が計画に位置付けられたとおりに実施されなかった。

令和２年度　匝瑳市地域公共交通活性化協議会　（千葉県匝瑳市）
（地域公共交通調査事業）

概要

〇公共交通の概要

・匝瑳市の公共交通のうち、主に匝瑳市と市外を結ぶ公共交通として、JR総武本線の鉄道駅が2駅、高速バスが1事業者1路線、路線バスが1事業者1路線運行している。

・主に市内の公共交通として、平成9年から市内循環バスが市全域を網羅するよう6路線運行している。また、タクシー事業者が3社運行している。

・第6回東京都市圏パーソントリップ調査での自動車の交通手段分担率は77.1%と、千葉県東部平均（73.7%）、千葉県平均（41.8%）より高く、また、鉄道、バスといった公共交通の交通手段の分担率は5.6%と千葉県平均（24.3%）より低く、自動車依存度が高い。

計画策定調査の必要性

・近年の地域公共交通は、人口減少や自家用車の普及に伴い、利用者が減少している。

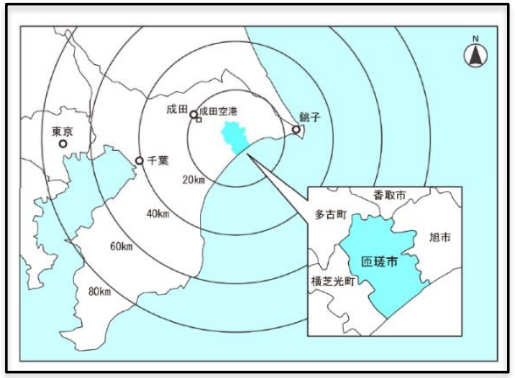
・匝瑳市も例外ではなく、市内循環バスについては平成19年度時点で約10万人あった利用者は令和元年度では約5万人に減少している。また、これまで市民からの陳情や要望などを踏まえ、見直しを行ってきた結果、1運行当たりの所要時間が1時間～1時間30分と長大な路線が多い。

・平成27年度から、市内循環バスの利用が困難で、自動車やバイクの運転免許証を持たない75歳以上の方に対し、タクシーの利用料金の全部又は一部を助成する「匝瑳市地域交通利用料助成事業」を実施している。

・市が負担する運行経費は、令和元年度では、約8,057万円（市内循環バス委託費7,143万円、地域交通利用料助成金914万円）に及んでおり、財政負担の軽減を図る意味からも、効率的で持続可能な公共交通体系の構築が喫緊の課題となっている。

・これらの課題がある中で、鉄道や補助幹線系統などの広域交通との連携や、駅等の交通結節点での乗り継ぎによる市内外へのアクセスを意識した面的な交通ネットワーク形成を見据えた策定が必要となる。

・なお、計画策定のためには、市域の現況特性、公共交通の利用実態・ニーズ等を調査し、地域公共交通を取り巻く課題を整理する必要がある。



面　積		101.52 ㎢
人口（R2.4.1時点）		35,881人
	15歳未満	3,646 人
	65歳以上	12,368人
高　齢　化　率		34.5 %
世　帯　数		14,642世帯

協議会開催状況

〇協議会の開催状況　5回開催

・第1回（5月1日　書面開催）
　協議会の設立について

・第2回（7月20日）
　計画の策定について

・第3回（11月30日）
　調査業務の進捗について

・第4回（1月25日　書面開催）
　素案について
　事業評価について

・第5回（3月22日）
　計画について

調査の内容

①公共交通に関する現況把握
　地域特性、既存公共交通の現況、上位・関連計画におけるまちづくりの方向性を整理。
②市民及び利用者の意向把握アンケート調査
　市民アンケート調査（15歳以上の市民を対象とした2,000人無作為抽出）、市内循環バス利用者アンケート調査、地区別意見交換会（3地区）、交通事業者へのヒアリング調査（5事業者）、関係団体アンケート調査（3団体）、主要施設利用者アンケート調査（3施設）
③匝瑳市地域公共交通計画（案）の取りまとめ
　調査等を踏まえ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についての基本方針をまとめ、その基本方針に沿って、持続可能な公共交通網の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を具体的に反映させた計画の取りまとめ。
④協議会開催
　計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催。
　匝瑳市地域公共交通活性化協議会の開催（年度末までに計5回開催予定）

調査事業の結果概要

・市民アンケート調査では、「買い物」や「通院」目的で外出する際に、５人に１人（22.3%）が困っており、10歳代や80歳以上で困り具合が高いことが分かった。

・市内循環バス利用者アンケート調査では、利用者層は幅広い年齢層で、運転免許証が無い方の利用が約8割と多いことが分かった。

・地区別意見交換会では、公共交通に対する住民の意見等の確認が行えた。

・交通事業者ヒアリング調査では、バス事業者、タクシー事業者ともに乗務員不足の状況が確認できた。

・関係団体アンケート調査では、タクシーの営業時間の拡大や、市内全域を網羅した公共交通の改善・整備、高齢者などの買物支援といった意見が寄せられていることが分かった。

・主要施設利用者アンケート調査では、「車（自分で運転）」が約8割と多いが、匝瑳市民病院で「車（家族などの送迎・同乗）」が20.7%を占め、匝瑳市役所や野栄総合支所より多いことが分かった。

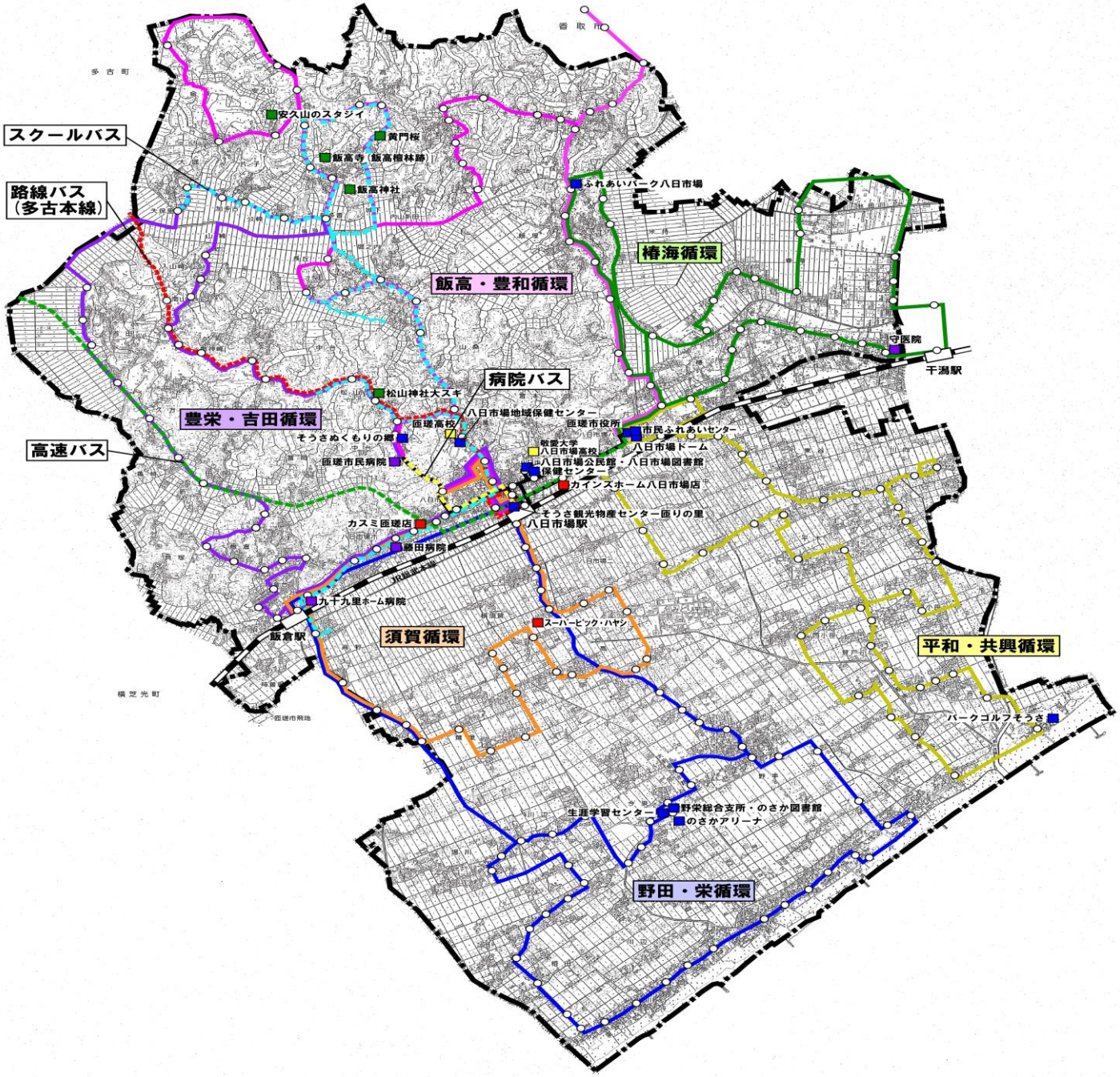
地域公共交通計画等の策定の方針

①広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す
②各公共交通機関同士の相互連携や、誰もが利用しやすい環境整備による利便性向上を目指す
③多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す

を基本方針とし、各種目標及びそれに基づく施策を位置付け。

次年度以降の取組概要

・市内循環バスの効率化
・広域アクセスや市内交通（市内循環バス）との組合せによる輸送効率の向上の実現
・交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現
・観光資源（ふれあいパーク八日市場、飯高寺（飯高檀林跡）、パークゴルフそうさなど）や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現

などを実施予定。

●匝瑳市公共交通路線図（令和2年4月1日現在）